

2016(平成28)年度 第32期事業報告書

自 2016(平成28)年4月1日
至 2017(平成29)年3月31日

公益財団法人 日中医学協会

はじめに

公益財団法人日中医学協会は、2015年の財団設立30周年に引き続き、2016年は日中笹川医学奨学金制度30周年を迎え、日本財団の助成と企業・団体・大学等のご協力により、内外のご来賓及び指導教官等多数のご参列の下、東京において10月14日、日中医学学術交流大会及び記念講演・式典を盛大に滞りなく行うことができました。ご支援いただいた各位に改めて深謝申し上げます。

2016年度は日中笹川医学協力プロジェクト第5次制度のあり方検討が最大の課題でありましたが、各位のご理解とご支援により、早期に協定書締結に至ることができました。

この第5次制度は、2015年12月に日本財団に初歩的構想を打診し、負託を受けて執行部（常任理事会等）において検討を進め、理事会に諮りつつ中国側と協議を進めて参りました。

時代が日中の新たな協力関係を求めており、単なる友好交流でなく、協会が今後どのように事業展開していくか。これを踏まえた奨学金制度のあるべき姿をどうするか。中国の経済はもとより科学技術等各方面に及ぶ目覚ましい発展並びに奨学金制度の過去と現状、また、中国側の意向・希望などの要点も踏まえて第5次制度の基本骨格を構想概要としてまとめ、中国側（国家衛生和計画生育委員会）との折衝により、第五次の「日中笹川医学協力プロジェクト協定書」として纏めることができました。

内閣府による立入検査が3月17日に行われました。公益財団法人へ移行（2013.04.01）後、初めての立入検査でありましたが、概ね良好な事業運営を行っているとの講評でありました。指摘事項・留意事項については対処方針として示しておりますので、理事各位のご協力をお願い申し上げます。

会長に日本医学会会長の高久史磨先生が、理事長に順天堂理事長の小川秀興先生がそれぞれ代表理事として就任し、新体制下での2016年度事業をほぼ事業計画通りに実施することができました。

役員はじめ産学官民各方面の皆様には、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

2016年度事業計画に従い、当法人の事業、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業、エ広報事業は、ほぼ計画通り実施された。詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

① 日中医学交流会議——日中笹川医学奨学金制度 30 周年記念事業

——主題：日中両国の医学医療領域における先進課題

2016年10月14日(金)ベルサール新宿グランドにおいて、内外のご来賓(古屋範子厚生労働副大臣、日本財団笹川陽平会長・尾形武寿理事長、馬曉偉中国国家衛生・計画生育委員会副主任、程永華中華人民共和国駐日本国大使館特命全権大使ほか)多数をお迎えし、「日中医学学術交流大会 2016 東京」、「記念講演、記念式典」を開催した。

内外から想定を超えるご参会(438名)をいただき、詳細は附属明細書に記した。

② 日中笹川医学協力プロジェクト(第五次制度)の調印

北京の人民大会堂・重慶ホールにおいて2017年2月17日、日本財団(尾形武寿理事長)、日中医学協会(小川秀興理事長)、中国国家衛生・計画生育委員会(崔麗副主任)が協定書に調印した。在中国日本国大使館の横井裕特命全権大使のご出席をいただいた。詳細は附属明細書に記した。

③ 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト(第3期、第4期)及び第3回日中医学交流フォーラムの実施

詳細は附属明細書に記した。

計画の未達

事業計画の医療協力6事業(21項目)の内、20項目を実施し、下記事業が計画の未達となった。

① 医療協力事業：訪中団派遣1項目

——会員及び任意の医療機関・団体等からの提案もなく実施しなかった。

※ 日本式医療の拠点化に向けた事業性調査(経済産業省の事業等)は、「生活習慣病の予防と治療に関する日本式医療の試行プログラム」について検討中であるが、実施には至っていない。

会計別	予算額 円	決算額 円	達成率 %
公益会計	177,210,000	185,545,033	104.7%
法人会計	9,712,000	9,002,657	92.7%

(2) 資金調達等の状況

主な事業収益	①日本財団助成金	138,880千円
	②事業収益/寄附金	25,870千円

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
一般正味財産経常収益	160,416,750	121,702,658	144,158,368	194,547,690
同評価損益等調整前当期経常増減額	86,040	-2,069,743	-3,713,306	1,915,895
同当期経常増減額	86,040	-2,069,743	-3,713,306	1,915,895
同当期経常外増減額	—	—	3,938,259	—
指定正味財産増減額	—	21,202,199	-14,804,098	4,598,101
正味財産期末残高	344,668,447	363,800,903	349,221,758	346,539,552

(4) 主要な事業内容

事業	主な事業の内容
研究助成	①日中笹川医学奨学金制度 ・第4次第38期生, 25名 4月13日研究者認定式、10月15日研究者セミナー開催 ・第4次第39期生, 2017年度来日の27名を選抜(内、3名辞退) ・第5次制度の調印(2月17日、北京・人民大会堂重慶ホール) ——2018年度事業開始(共同研究コース20名、学位取得コース10名) ②共同研究等助成事業 ・調査・共同研究助成6件(臨床医学、社会医学、歯学、看護学) ・若手在留中国人研究者助成2件(臨床医学、歯学) ③中国人医師・研究者招聘事業 ・日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第3期、第4期実施等
学術会議開催	①日中医学交流会議 ——日中笹川医学奨学金制度30周年記念講演 ②第3回日中医学交流フォーラム ——婦人科フォーラム(主催)9月21日 リーガロイヤル大阪 ——消化器フォーラム(協力)9月22日 江蘇省蘇州市 ——日中子宮内膜症交流サミット(協力)10月22日 北京市 ③2016年度医学生のための漢方医学セミナー(後援) ④中医学講座シリーズ(後援)
医療協力	①笹川医学奨学金進修生同学会事業 ・中国国内研修事業: ——①短期総合診療研修、②短期診療技術・技能研修

	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア診療（陝西省西安市、兵庫県明石市） ・支部学術会議（北京等 8 支部） <p>③専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹川医学奨学金進修生同学会事業への派遣 12 名、日中医学交流フォーラム 12 名、その他 2 名 <p>④医療の国際化に係わる事業</p> <p>——「生活習慣病の予防と治療に関する日本式医療の試行プログラム」について提案（中国国家衛生・計画生育委員会国際交流中心）</p> <p>⑤医療関連訪日団等招請事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（国研）科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」（さくらサイエンスプラン）による招請 ・医療関連訪日団招請： 中国病院薬剤関係者訪日団等 17 件
広 報	<p>①機関誌『日中医学』の発行（第 31 巻 1～4 号）</p> <p>②『NEWS LETTER』の発行（No.39～No.41）</p> <p>③情報発信のあり方（ホームページ拡充）検討</p>

(5) 会員に関する事項

種 類	当年期初 名	当期末 名	増 減 %
名誉会員	8 名	8 名	100 %
個人会員	402 名	540 名	134 %
法人会員	68 社	73 社	107 %
特別会員	3 社	4 社	133 %

※ 会員規程第 9 条第 2 項に基づき、2013 年度から 3 年間会費未納の者（法人を含む）は、2016 年 4 月 1 日をもって退会扱いとした。

(6) 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	本田 伸吾	2012 年 5 月 1 日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	岡田 光子	2013 年 4 月 1 日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
職員	末原 珠生 太田 晶子		事務局事務（事業全般）	
嘱託職員	4 名		事務局事務	

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2016.05.26	公益第12回理事会 2015年度事業報告の件 2015年度決算報告の件 理事の補充選任推薦及び副会長の補欠選任の件 公益第6回定時評議員会の招集の件 旅費交通費規程改定の件 日中笹川医学協力プロジェクト(第5次制度)について	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2016.08.10	公益第13回理事会(みなし決議) 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件	全員一致可決
2017.03.08	公益第14回理事会 2017年度事業計画(案)の件 2017年度収支予算(案)の件 旅費交通費規程改定の件 役員等職務権限規程改定の件 会費改定の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2016.06.15	公益第6回定時評議員会 <u>決議事項</u> 2015年度計算書類(決算報告)の承認の件 理事の選任の件 旅費交通費規程改定の件 <u>報告事項</u> 2015年度事業報告の内容報告の件 2016年度事業計画、収支予算の内容報告の件 理事の職務執行状況の報告の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2016.08.31	公益第7回評議員会(みなし決議) <u>決議事項</u> 評議員の辞任に伴う補欠選任の件	全員一致可決

(8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

(9) 対処すべき課題

- 1 日本財団の助成事業「日中笹川医学協力プロジェクト——日中笹川医学奨学金制度」は、2015 年度事業報告書で示した対処方針に従い、第五次制度を協定した。第五次制度は日中医学交流の新しい形を目指し、これまでの制度と異なる全く新しい制度として実施するものである。第五次制度を円滑に実施するための対応が問われる。
- 2 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）について、日本式医療の中国における拠点化に向けた事業推進が求められている。
- 3 内閣府の立入検査において、「定款第 27 条第 5 項：会長、理事長及び業務執行理事は、事業年度毎に 4 か月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない」を満たしていないことが指摘されている。

対処方針

- 1 2017 年度は研究者の募集と選考であるが、対応する委員会等も改編し、適切妥当な研究先が確保できるよう体制を固めて事業を進める。
- 2 2016 年度に「日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト」の第 3 期、第 4 期を実施（2017 年 6 月に第 5 期を予定）し、2017 年度は、①本プロジェクトで研修を終了した中国の医療機関による中国国内での 2 次展開（二級病院等に対する研修、日本からも専門家派遣）を予定している。また、②日本式医療の拠点化に向けた事業性調査として、「生活習慣病の予防と治療に関する日本式医療の試行プログラム」の成案を得た。これらの事業によって日本式医療の中国における事業推進を図る。
- 3 定款第 27 条第 5 項を満たすよう理事会を開催する。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	高久 史麿	2017.03.31	非常勤	36 千円	日本医学会会長
理事長	小川 秀興	〃	〃	36 千円	順天堂理事長
副会長・理事	安達 勇	〃	〃	36 千円	
業務執行理事	新井 一	〃	〃	36 千円	
	江藤 一洋	〃	〃	36 千円	
	林 謙治	〃	〃	36 千円	
	日比 紀文	〃	〃	36 千円	
理事	跡見 裕	〃	〃	24 千円	
	池谷 田鶴子	〃	〃	24 千円	

	尾身 茂	〃	〃	24 千円	地域医療機能推進機構 理事長
	春日 雅人	〃	〃	12 千円	国立国際医療研究センター 総長・理事長
	木村 政之	〃	〃	24 千円	日本製薬団体連合会理事長
	近藤 達也	〃	〃	—	医薬品医療機器総合機構 理事長
	庄田 隆	〃	〃	24 千円	
	手代木 功	〃	〃	12 千円	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
	林崎 良英	〃	〃	12 千円	
	平岡 眞寛	〃	〃	12 千円	
	堀田 知光	〃	〃	24 千円	
	松原 謙二	〃	〃	—	
	三宅 養三	〃	〃	24 千円	愛知医科大学理事長
	武藤 徹一郎	〃	〃	12 千円	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任理事	森岡 恭彦	2015. 10. 31	〃	24 千円	
------	-------	--------------	---	-------	--

注) 第 12 回理事会・第 6 回評議員会（2015 年度事業報告、決算報告）への出席手当

(2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 淨	2017. 03. 31	非常勤	36 千円	
	星合 昊	〃	〃	36 千円	
	小野 喜志雄	2019. 03. 31	〃	36 千円	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	池田 裕	2017. 3. 31	非常勤	12 千円	
	石館 光三	〃	〃	12 千円	
	一戸 達也	〃	〃	—	
	稲葉 裕	〃	〃	12 千円	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	金井 隆典	〃	〃	—	
	洪 愛子	〃	〃	12 千円	
	小林 慶太	〃	〃	—	
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	曾根 智史	〃	〃	—	
	高橋 和久	〃	〃	12 千円	

	高松 研	〃	〃	12 千円	
	寺本 明	〃	〃	12 千円	
	中尾 浩治	〃	〃	—	
	根本 則道	〃	〃	—	
	範 江林	〃	〃	—	
	松本 謙一	〃	〃	—	サクラグローバルホールディングス 代表取締役会長
	道永 麻里	〃	〃	—	
	山口 建	〃	〃	—	静岡県立静岡がんセンター総長
	山田 陽城	〃	〃	12 千円	
	渡邊 和久	〃	〃	—	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任理事	藤原 英憲	2016. 8. 31	〃	12 千円	
------	-------	-------------	---	-------	--

注) 第 6 回評議員会 (2015 年度事業報告、決算報告) への出席手当

(4) 役員等の報酬等

区 分	人 数	報酬等の総額	備 考
理事	22 名	504 千円	退任理事 1 名を含む
監事	3 名	108 千円	
評議員	21 名	120 千円	

3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

役員等職務権限規程の改定及びマイナンバー制度に係わる諸規程を制定した。

2016年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2017年5月23日
発行人 小川 秀興

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3 住泉KMビル 6階